

The History of Tango Regional Museum

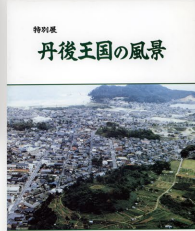
丹後郷土資料館は、京都府北部地域の歴史・考古・民俗分野等に関連する資料の保存及び活用を図り、府民の文化的向上に資することを目的として、昭和45年(1970)に開館しました。以来、多くの人に育まれながらさまざまな活動に取り組み、半世紀あまりの時間を刻んできました。

文化遺産を未来へ伝えていくことが使命であるミュージアムは、“サステナブル(持続可能)”であることが重要です。

本展では、地域とともに歩んできた当館の歴史を振り返り、その時々話題となった資料を通して、これからのミュージアムを展望します。



1980



2000

2023 Kyoto Prefectural
Tango Regional Museum
Special Exhibition



2020



30周年記念展!

展覧会でふりかえる 丹後郷土資料館のあゆみ



当館開館に尽力された岩崎英精と開館十五周年を語る座談会(1985年)



友の会初代会長中嶋利雄(中央)・当館開館10周年記念式(左)・両丹地方史研究大会(右)

写真キャプション ①開館当初の当館 ②古文書整理作業 ③ぶらり丹後(宮津) ④榎輪の復元作業 ⑤展示解説 ⑥『環頭太刀の発見』展図録・金銅装双龍環頭太刀柄頭(奈良文化財研究所 栗山雅夫撮影) ⑦ガラス小玉 ⑧国分寺追廻面 ⑨開館当初の当館外観・風景 ⑩方格規矩四神鏡 ⑪増築した当館外観・風景



●関連イベント

文化財講座

『丹後郷土資料館と丹後王国論』

日時 5月27日(土) 午後1時30分~3時

講師 杉原 和雄さん 元京都府立丹後郷土資料館技師・元大阪国際大学教授

最新情報は
こちらを
チェック!



HP
(ホームページ)



Instagram
(インスタグラム)



Twitter
(ツイッター)



交通のご案内

ACCESS

- ・京都丹後鉄道宮豊線「天橋立駅」または「岩滝口駅」から丹海バス伊根方面行き「丹後郷土資料館」下車。または「国分」下車徒歩5分
- ・「謝天橋立IC」から車で10分

これからの
ミュージアムを考える——